

ヒグマ対策用携帯食料保管容器 (フードコンテナ) の使用方法

知床のバックカントリーでのキャンプでは必需品！

保護が徹底されている知床のヒグマは、人間を恐れずに近付いてくることがあります。食料の匂いにひかれてテントに近付いてくると危険です。また、放置された食料を食べると味を覚えて人に近付いてくるようになり、たいへん危険です。そのようなことを防ぐために、知床での野営では、必ずフードコンテナをお使い下さい。

このコンテナはクマに絶対に壊されないように工夫されています。材質は強く軽い強化プラスチックです。直径の大きな円筒型の形状は、クマが囓ったり、押しつぶそうとしても破壊できないようにするためです。なめらかで突起物がない表面は、クマの爪がかからないようにするためです。

北米の国立公園では携行が義務づけられているところもあるほどで、高い信頼性を持っています。

食べ物の匂いをもらさない

中に入れる食料やゴミはビニル袋に入れ、しっかり口をしぼって匂いが漏れないようにしましょう。

フードコンテナの蓋は常に閉めて、二つのロックをし

っかりかけておきましょう

招かざる客(クマ)が来るかもしれないということに備えておく必要があります。特に調理中は要注意です。

火の近くに置いてはいけません

コンテナはプラスチック製品です。火から離して使用しましょう。コンロの台にはしてはいけません。

コンテナは寝る場所から離れた所に置きましょう

コンテナはテントから100m程度離れたところにおいて下さい。テントにクマを誘引することを避けることができます。もしクマがコンテナに興味を持っていじっていても、取り返そうとしてはいけません。攻撃してくる可能性があります。

クマがコンテナを叩いたり、かじったり、蹴飛ばしたりしても大丈夫です。ほっておいて下さい。そのうちあきらめて行ってしまおうでしょう。

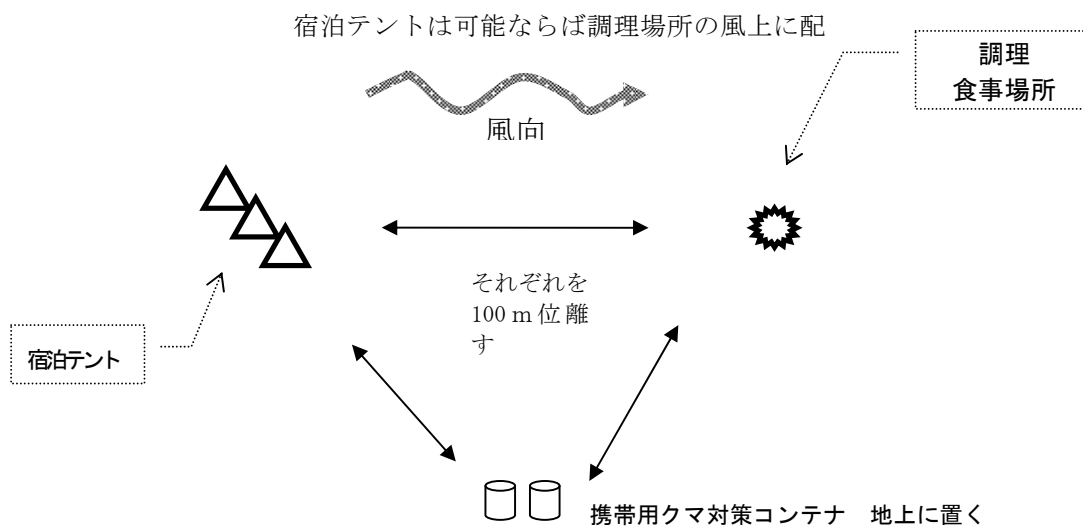


知床では下記の場所でレンタルもしています。詳しくはホームページをご覧ください。

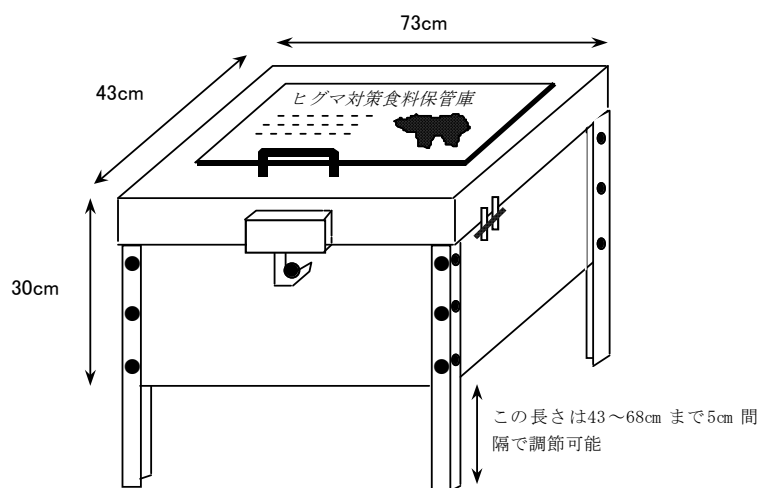
知床自然センター (TEL:0152-24-2114)、羅臼ビジターセンター (TEL:0153-87-2828)、ルサフィールドハウス (TEL:0153-89-2722)

URL <http://www.shiretoko.or.jp/library/bear/food/>

キャンプサイトの配置デザインの例



知床連山の縦走路では「クマ対策食料保管庫」をお使い下さい



クマ対策食料保管庫

- ・ステンレス製。フタは閉めると自動的にロックされ、ロックし忘れを防止する。
- ・縦走路の野営地に設置されています。
- ・食料・生ゴミをテント内に入れるとヒグマを誘引します。就寝時は保管庫内に入れて下さい。